

はつらつ  
ところっこ

## 出会いに導かれて、真のオペラを知る



藤原歌劇団・日本オペラ協会所属／オペラ歌手  
原 優一 さん(市内出身・在住)

プロとして4年目にして来シーズンの同歌劇団本公演「ラ・トラヴィアータ(椿姫)」へのデビューが決定した、今オペラ界で大注目の若手新進テノール※。所沢小・中学校出身で、地元の友人と飲みに出掛けるのが毎月の楽しみ。月一で訪れるほどのディズニー好き。大学時代は永江恭平選手の活躍見たさに、西武ドームでアルバイト。焼き団子はしょうゆ派。

memo  
原さんの出演情報  
など詳細はこちら

▲日本オペラ振興会HP ▲X(旧Twitter)

※テノールとは高い音域の男声歌手のこと。

「背伸びせず等身大で歌うことが安定の秘訣」と大らかな笑顔で話すのは、原優一さん。導かれし天性のオペラ歌手だ。生まれも育ちも所沢。「幼少期は西所沢の山車で太鼓をたたいたこともあった」と語る原さんは、当初クラシックとは無縁の生活を送っていた。中学はテニス部で高校も普通科、両親が音楽をやっていたわけでもない。ただ、歌が好きで、音楽なら良い成績が取れると感じていた。原さんが最初に描いた夢は「歌のお兄さん」。入り口は「テレビに出たい」という軽い気持ちだった。夢を叶えるべく音楽大学へ進学したが、卒業時のオーディションでは不合格。進路に悩んでいたところ、歌の先生の勧めで「歌手」としての勉強をするため別の大学に編入することに。そこで「一度だまされたと思ってオペラをやってみなさい」と導かれる。

「軽く考えるのは自分の良くないところ」と言う原さんだが、実際は常に自らに期限を課していた。「大学に編入できなければ」「歌劇団のマスタークラスに入らなければ」「修了後仕事が無ければ」「30歳までに本公演デビューができなければ」音楽をやめよう……人との出会いに導かれ、全てを実現させてきた。修了後、次々とオペラの主役級に抜

きされていたが、とある公演で「直立のまま歌うだけで、舞台上に動きがない」と物足りなさを感じてしまう。

そんな時、共演した歌手に衝撃を受けた。「その人が舞台にいただけで面白いんです」。舞台の雰囲気を変えていく術を学んだ原さん。今まで、自身が動かさずとも周りの演技に盛り立てられていたことを実感し、演出家の要求に応えるだけだったオペラ感が変わった。「動作一つでも、なぜそのコップを取るのか、その感情によって間は異なるし、コップの取り方も違ってくる」。演技の奥深さ、自分も含め皆で作り上げる喜びを知った。「最終的に演奏を届けるのは歌手だが、背景には多くの人による下準備がある。それらを背負えることが演者としてのオペラの魅力」と語る原さんは根っからの舞台人。その重圧が心地良いと言う。

「オペラはただ歌うのではなく、ストーリーがある『演劇』。日本語の作品や、外国語でも字幕があり、同じ演目でも解釈によって異なる作品になる。ぜひ映画やミュージカルと同じように、気軽に劇場へ来て、生の声に包まれる感覚と、特有の世界観を楽しんでほしい」。少年のように自然体の原さんだが「歌劇団を背負えるような次世代のテノール歌手になりたい」と、心は熱い。次はどんな役を生きるのだろうか。心待ちにしたい。(取材: 齋藤)



▲同振興会公演の様子

## 今月のプレゼントクイズ!

9月にビュッフェレストランへ生まれ変わりました!  
角川食堂ランチビュッフェペア利用券 (4,960円相当×5組) ※ドリンク代別



最大60種が味わえるビュッフェ。最目玉は、自家製ロースト肉や野菜たっぷりのデリ、オリジナルスパイスで作るカレーです♪12月25日までクリスマスフェアを実施中。お正月は先着順で、甘酒やお菓子の振る舞いも予定しています。明るく広々とした空間で楽しいひと時を。

●角川食堂  
東所沢和田3-31-3  
☎2003-7035 (ランチビュッフェは午前11時～午後3時/火曜定休)

◀フェアや年末年始の営業予定は同店HPをチェック

- ◆今月のクイズ  
10・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?
- ◆応募方法 (12月10日(火)締め切り)  
①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦12月号の感想を記入し、〒359-8501広報課(住所不要)に郵送・市HP(Qプレゼント)で応募◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。
- ◆プレゼント提供事業者も募集中!  
詳細は、市HP(Qプレゼント募集)をご覧ください。



## 読者感想文

- 私たち一人ひとり、障害者についても原点に戻り、理解し、生活するよう努めることが大切だと痛感しました(西所沢・70代)
- 私も現在飲食店に勤務していて、障害のある方に対してどのように接して良いのか迷うことがありましたが、具体的な例を知ることができて良かったです(松が丘・50代)
- 「障害のある人もない人も共に暮らしやすいまち」を目指す特集には、親として子どもたちの未来が住みやすい地域になることへの安心感を抱きました(20代・元町)
- 自分から声は掛けづらいけれど、できることはしたいという感想も多くいただきました
- 坂巻有紗さんが地元出身と知らなかったのが驚きました。ぜひ、所沢の魅力をたくさん発信してもらいたいです(くすのき台・40代)
- 観光大使の坂巻さんは、今後も市のイベントに参加予定! これからの活躍に目が離せません
- テレビドラマの原作者が所沢市の出身と知りびっくりするやら嬉しいやら。ご自分の夢を諦めることなくチャレンジする丸山さん。素晴らしいですね(本郷・60代)
- 前号ところっこの丸山さん。小説として表現することは本当に特別な力だと思いました。ドラマも素晴らしいですし、原作の小説を楽しんでみるのも!

## 編集後記

「子どもと本」の特集。私は我が子への読み聞かせのおかげで、本のある生活ができています。と言っても絵本なので、年末年始にゆっくり小説でも読めるよう、残り一カ月、着々と大掃除を進めなければ…!すでに師走のように駆け足で過ごした一年でしたが、振り返ると貴重な出会いがたくさんありました。特に、はつらつところっこの取材ではいつも学びや気付きがあります。実りある年になりそうです(齋藤)

令和6年は大地震から始まりました。長い猛暑、豪雨被害、米価格の高騰、選挙もありました。自身も環境が変わり、変化の大きな年でした。皆さんはどんな年だったでしょうか(上地)  
ぎっくり腰になりました。「ぎっくり」という言葉の響きにだまされないでください。本当に痛いんです。体の冷えも原因でしょうか。8面を読んで体を温め、私のようにならないでください……(深町)